

水戸市堀斎場火葬炉設備工事に係る公募型プロポーザルの選定結果及び審査講評について

1 はじめに

堀斎場については、竣工から49年が経過し、建物自体の老朽化が著しく、耐用年数を経過している設備もあることから、斎場長寿命化計画に基づき、斎場の中で特に重要な役割を果たす火葬棟及び火葬炉設備を優先して改修・更新を行うこととしています。

火葬炉は、技術的な専門性が高い特殊な設備であるとともに、非常災害時においても安定した稼働継続が求められることなどから、設備の安全性、信頼性等に関する専門的な技術について、経済性ととも評価する必要があります。

このことから、堀斎場における火葬炉の整備予定者として適正な事業者を選定するため、公募型プロポーザルを実施しました。

また、公募型プロポーザルにおいては、外部の学識経験者で構成する水戸市堀斎場火葬炉選定評価委員会に客観的かつ公平・公正な評価を依頼し、その評価を踏まえ、本市として整備予定者を選定しました。

2 選定までの経過

令和8年3月18日	プロポーザル公告
令和8年3月30日	質問書に対する回答
令和8年4月3日	参加表明書の提出期限（1者提出）
令和8年4月7日	参加資格審査結果通知（1者承認）
令和8年4月17日	技術提案書の提出期限（1者提出）
令和8年5月11日	プレゼンテーション及びヒアリングの実施 整備予定者候補者（最優秀者）の選定
令和8年5月25日	整備予定者の決定

3 水戸市堀斎場火葬炉選定評価委員会

(1) 委員（順不同・敬称略）

稲垣 照 美（茨城大学工学部機械システム工学科教授）※副委員長

佐々木 直 栄（日本大学工学部機械工学科教授）

佐藤 理 夫（福島大学名誉教授、共生システム理工学類客員教授）※委員長

(2) 会議の開催経過

令和8年2月26日 第1回会議

内容：委員長及び副委員長の選出について

火葬炉の選定方法等について

その他

令和8年5月11日 第2回会議

内容：技術提案等の評価並びに最優秀者の選定について
その他

(3) 評価結果

ア 評価点

評価項目		株式会社宮本工業所
会社概要	組織及び体制	4.17
	実績	4.17
技術提案	設計等業務協力の実施方針	7.50
	火葬炉設備の基本的な考え方・型式・特徴	6.67
	既存施設を稼働しながらの工事実施における基本的な考え方	5.00
	環境への配慮及び安全対策・耐震性	6.67
	運転・保守に関する提案	5.83
価 格	施設整備費	20.00
	維持管理費	20.00
合 計		80.01

イ 評価結果

最優秀者 株式会社宮本工業所 : 80.01 点

4 選定結果

水戸市堀斎場火葬炉選定評価委員会による評価を踏まえ、次のとおり選定しました。

整備予定者 株式会社宮本工業所

5 審査講評について

水戸市堀斎場火葬炉選定評価委員会の審査講評は、次のとおりです。

水戸市堀斎場火葬炉設備工事に係る公募型プロポーザル 審査講評

水戸市堀斎場火葬炉選定評価委員会の委員は、専門分野の知見と様々な自治体において委員を務めた経験を生かし、本プロポーザルの評価に携わりました。

水戸市堀斎場火葬炉設備工事に係る公募型プロポーザルの実施に当たっては、1者から参加表明書及び技術提案書の提出がありました。提出された技術提案書は、要求水準書に則ったものであり、豊富な施工実績により高い信頼性が裏付けられ、市が要求する水準を上回る内容と認められました。多大な労力と時間の負担があったと想定されるなかで、提案内容をとりまとめた提案者の熱意に敬意を表するとともに、深く感謝いたします。

審査は参加者名を伏せた形で行い、「組織及び体制」、「実績」、「設計等業務協力の実施方針」、「火葬炉設備の基本的な考え方・型式・特徴」、「既存施設を稼働しながらの工事实施における基本的な考え方」、「環境への配慮及び安全対策・耐震性」、「運転・保守に関する提案」、「施設整備費」及び「維持管理費」の各項目について厳正に評価しました。

その結果、株式会社宮本工業所による提案を、市の期待する設備の安全性・信頼性等に関する専門的技術と経済的な効率性が、高いレベルで両立されているものとして評価し、同社を整備予定者としてふさわしいとしたものです。

提案内容は、全体として、自社の特許技術を取り入れた最新の火葬炉を導入することによる運営労務を極力低減する工夫等がなされており、今後の持続可能な斎場運営の実現のために十分考慮された提案であると受け止められました。

設計等業務協力の実施方針に関する提案については、経験豊富な監理技術者を配置し、すべての会議体に積極的に参加することにより、市及び関係各社と強固に連携し確実な施工を実現するための体制を構築する方針が評価されました。

既存施設を稼働しながらの工事实施における基本的な考え方に関する提案については、同様の工事を複数施工している実績から、利用者や斎場運営に配慮した工程（休館日や炉前に人がいない時間帯での施工を基本とする）が評価されました。

上記以外の評価項目においても、火葬炉設備の基本的な考え方、環境配慮、安全対策・耐震性並びに運転・保守において市の要求水準を十分に満足する提案との評価を受け、整備予定者としてふさわしい評価となりました。

水戸市堀斎場火葬炉選定評価委員会は、株式会社宮本工業所が今後の業務を行うに当たり、以下に示す事項への配慮が必要であると考えます。

- ・堀斎場長寿命化改修実施設計業務への協力に当たっては、技術提案書等に記載された内容を適切に反映するとともに、改修費用の低減に留意すること。また、火葬炉設計の説明に用いられた炉内外の熱量計算式及びその単位系について再度確認を行うこと。
- ・市や関係各社と密に連携して工事内容及び工程等の詳細な検討を行い、休場日の最少化と工事の安全確保とを両立させること。工事期間中は振動・騒音・粉塵などのモニタリングを行い、会葬儀式や周辺住民の生活環境に影響を及ぼさないようにすること。加えて、撤去後の

資材・廃材の運搬・処理についても関係各社に確実に対応させること。

- ・当該斎場は、住宅地内に位置していることから、詳細な施工方法（資材置き場やトイレの配置、仮設事務所の仕様や配置、早朝・夜間の車両の動き等）を検討し、周辺環境への配慮を徹底すること。
- ・デジタル技術を活用して日常の操作員の負担を軽減し、緊急時対応の円滑化を図ることは重要である一方で、情報流出やサイバー攻撃被害など、安全上のリスクも想定される。火葬炉を管理するPCのソフトやOS等のアップデート及び遠隔操作の責任範囲を明確化し、将来にわたり情報セキュリティが確保されるよう市と連携すること。
- ・火葬炉設備の設計・施工・維持管理については、今後の技術開発・技術革新も盛り込み、更なる整備費低減と維持管理費の削減が可能となるよう、より一層の取組に努めること。

今後、株式会社宮本工業所においては、提案内容の具体化に向けた市との協議・連携に当たり、上記の事項にも十分に配慮のうえ、真摯な対応に努めるよう求めます。

令和8年5月

水戸市堀斎場火葬炉選定評価委員会
委員長 佐藤 理夫